告示改正案（フィターゼ関係）

下線部分が改正箇所

改正後		改正前	
フィターゼの種類	算出方法	フィターゼの種類	算出方法
飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）別表第2の8の(140)フィターゼ（その1）	飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位を添加した場合 $0.2 \times \sum IPi \cdot (100 - InpPi) \cdot ri \cdot 10^{-4}$	飼料及び飼料添加物の成分規格等に関する省令（昭和51年農林省令第35号）別表第2の8の(139)フィターゼ（その1）	飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位を添加した場合 $0.2 \times \sum IPi \cdot (100 - InpPi) \cdot ri \cdot 10^{-4}$
同(140)フィターゼ（その2の(1)）	飼料1kg当たり1,000フィチン酸分解力単位を添加した場合 <u>0.189</u> ただし、令和元年9月9日付け官庁報告により公表のあった組換えDNA技術応用飼料添加物の安全性に関する確認を受けたものにあつては、以下を適用する。 飼料1kg当たり <u>1,000</u> フィチン酸分解力単位を添加した場合 <u>0.15</u>	同(139)フィターゼ（その2の(1)）	飼料1kg当たり1,000フィチン酸分解力単位を添加した場合 <u>0.15</u> ただし、平成15年3月27日付け官庁報告により公表のあった組換えDNA技術応用飼料添加物の安全性に関する確認を受けたものにあつては、以下を適用する。 飼料1kg当たり <u>1,500</u> フィチン酸分解力単位を添加した場合 <u>0.1</u>
同(140)フィターゼ（その2の(2)）	① 飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位以下を添加した場合 飼料1kg当たりのフィチン酸分解力単位 $\times 0.2 \times 10^{-3}$ ② 飼料1kg当たり500を超え1,000フィチン酸分解力単位以下を添加した場合 $0.1 + (\text{飼料1kg当たりのフィチン酸分解力単位} - 500) \times 0.1 \times 10^{-3}$	同(139)フィターゼ（その2の(2)）	① 飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位以下を添加した場合 飼料1kg当たりのフィチン酸分解力単位 $\times 0.2 \times 10^{-3}$ ② 飼料1kg当たり500を超え1,000フィチン酸分解力単位以下を添加した場合 $0.1 + (\text{飼料1kg当たりのフィチン酸分解力単位} - 500) \times 0.1 \times 10^{-3}$
同(140)フィターゼ（その2の(3)）	飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位を添加した場合 0.12	同(139)フィターゼ（その2の(3)）	飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位を添加した場合 0.12
同(140)フィターゼ（その2の(4)）	飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位を添加した場合 0.14	同(139)フィターゼ（その2の(4)）	飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位を添加した場合 0.14
同(140)フィターゼ（その2の(5)）	飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位を添加した場合 0.14	同(139)フィターゼ（その2の(5)）	飼料1kg当たり500フィチン酸分解力単位を添加した場合 0.14
同(140)フィターゼ（その2の(6)）	飼料1kg当たり175フィチン酸分解力単位を添加した場合 0.13	同(139)フィターゼ（その2の(6)）	飼料1kg当たり175フィチン酸分解力単位を添加した場合 0.13
同(140)フィターゼ（その2の(7)）	飼料1kg当たり478フィチン酸分解力単位を添加した場合 <u>0.1</u>	(新規)	(新規)
同(140)フィターゼ（その2の(8)）	飼料1kg当たり164フィチン酸分解力単位を添加した場合 <u>0.1</u>	(新規)	(新規)